

No. 128

# 全ヤ

9/42.

かっぱ寺 (東京台東区の曹源寺)



里から寺へ

本号に限り休載

私は、会長就任あいさつのため、さる六月二十八日、小原事務局長と同道して、全日仏本部を訪問した。

この日はきたる十月に開催の全日本仏教徒大会岐阜大会の準備委員会が開られていたので私も陪席して旧知のみなさまに就任のあいさつを申述べる機会を得たし、委員会の議事を傍聴することもできた。

大会役員の問題、特に議長団構成の件で、岩本昭典師の意見に対し、事務当局はどのような答弁をするかに興味を感じた。

岩本師ほか一名の主張は、大会にあのようには沢山の議長が必要なのか、しかもなんの用意もない人が、突然指名され、議長席についたとき、気の毒なほどまごつく人もある

### わたくしの提案

# 全仏強化のために

茨城県仏教会長

川田 聖 見

## 彙報

### ★ 全仏常務理事会

八月三十日午後一時から、京都ホテルでひらき、つぎのことについて協議した。

一 評議員および役員の仕事期満了について

二 日本万国博覧会について

三 世界仏教徒連盟常任理事会開催について

四 第十五回全日本仏教徒大会について

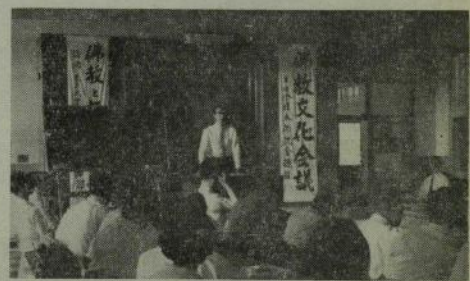
★ 法人化、初の仏婦総会

全日本仏教婦人連盟では、七月二十四日午後一時から長野市善光寺で第十四回の年次総会をひらいた。この会合は

社団法人設立許可をうけてからはじめて行なわれたものである。全仏から伊藤組織局長が出席し祝辞をのべた。

### ★ 仏教文化北海道会議

本年度第二回仏教文化会議は札幌市、真宗大谷派北海道教務所会館で四十余人の参加を得てひらかれた。北海道は中央から遠隔の地ながらここに仏教文化の華咲き乱れる日も近く、この地での会議開催は有意義であろう。議題は本年度統一テーマの「仏教とヒューマニズム」で、東京大学教授、玉城康四郎氏の約一時間にわたる講演を中心にデスカッションに移り、(司会は北海道大学助教授、藤田宏達氏) 第三部会では懇親を深



写真はその会場

### ★ 近藤部長、渡比供養

全仏近藤国際部長は、フィリピンでの戦死者慰霊祭に宗

ようだが、あれはまことに見苦しい、改良したらどうかというのである。

を発表したが、数件の条件のうち、特に、全日仏の強化策をはかることが急務であると主張した。

全仏当局としては、スポンサーであるところの宗団の実力者に敬意を表してのことであろうが、この質問なり意見は、なにもかも知りつくしている人の発言だけに私は苦笑を禁じ得なかった。そして寄合世帯のむづかしさ、全仏当局の気苦労をしみじみと察し入ったり、同情したりしたことだった。

全一仏教運動の総本部である全日仏が弱体であっては、どんなに議論を尽しても、しょせんは絵に書いた餅である。

全仏強化策の第一はまず経済的基盤を確立するにある。

私は茨城県仏教会長を引受けるにあたり、県仏強化のためにはまず経済的基盤を強固にせねばならぬことを条件にした。そして県仏は僧侶だけの集団ではなく、広く檀信徒を糾

教代表として参加、八月二十一日に出発、現地で慰霊祭をつとめ同二十八日帰国した。

### ★ 在外寺院問題と全仏

台湾にあった東本願寺台北別院は終戦により国府に接收されていたが、こんど民間に払下げられるという情報に接した東本願寺本山では、宗教施設の尊厳維持のためせひ善処してほしいとの要請が全仏にあつたので全仏では、外務省に事実の調査を依頼するとともに、今後海外にある各宗の施設にも関係する重大な問題として、ひきつづき文部省と協議し適切な手を打つことになった。

合して外郭団体をつくり、その経済力の援助によって、県仏の使命達成のための原動力にしようと考え、いま県仏檀信徒会結成の準備中である。

全日仏本部はまずなによりも経済自立を達成すべきである。その対策として私見を述べさせていただきます。

第一に全国檀信徒代表会の結成と、経済界の篤信者による外郭団体の結成。

第二に事業部門の新設、布教資料の出版印刷事業も加えるなど。

である。在俗者は神仏に浄財を奉納したがっている。組織力を死蔵した全日仏が、どうして世上の経済力を活用しないのか。世界の仏教圏諸国では、日本を代表する仏教会本部が狭い間借りをしていて、なにをするにも姑、小姑への気兼ねに苦しんでいるなど夢にも知らないであろう。

このようなありさまでは、全一仏

## 全仏加盟へ九州各県の動き

教推進などともんでもない夢物語りであり、まことに無念、残念である。ここでなんとかせねば、堂々たる仏教王国が創価学会のひとケチラシに遭って壊れる日が遠くないように思われてならない。  
みなさん力を合せて全日仏本部を万全なものにしようではありませんか。

全仏組織局は、未加盟府県仏教会の加盟促進を本年度の重点事業としてすすめているが、さる八月二、三両日熊本県庁で行なわれた文部省主催の宗教法人実務研修会を機会に、二日午後五時から熊本市呉服町東本願寺会館で仏教関係者懇談会を開ら

き、福岡、佐賀、大分、鹿児島、熊本（長崎、宮崎欠席）の各県から二十数人が出席し、熊本県仏教会代表中村文入師（宗連理事長）を議長に、九州各県仏教会の結成および全仏への加盟について協議をした。柳全仏組織部長から全仏の機構、事



### 寺のお紙表

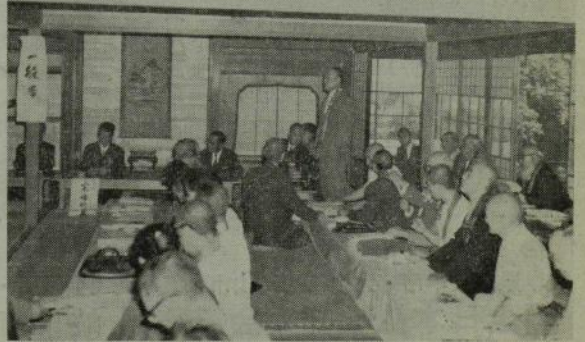
その名も高い「かっぱ寺」である。曹洞宗の曹源寺、台東区松葉町一三三（新表示、松が谷三一七―二号）都電合羽橋下車、上野方向に向ってすぐのところ。

このお寺の「河童大明神」の縁起は古く文化年間、義人

合羽川太郎を祀ったもの。川太郎の墓も境内に現存している。

客引き河童といって神徳あらたか、とりわけ水に縁のある商売に御利益があり、この大明神さまは御利益を授けるだけで、罰は決しておあてにならない寛容と調和の神さま。月祭は毎月二十三日、大祭は八月二十一日から三日間。

(写真上) 7月4日大阪難波別院で開催の近畿北陸ブロック会議



(写真下) 7月6日真宗高田派本山で開られた東海ブロック会議

業、組織強化の必要などについて説明、加盟問題を慎重に協議したが、この会は文部省の研修会出席が主目的であるため正式な代表者の会議とはならないが、各自がこの趣旨を体して帰県し、全仏加盟を強く働きかけることとし、つぎの申合事項を決議した。

われわれ宗教法人実務研修会参加の各県仏教関係者は、

時局の重要性に鑑み、可急の速かに各県仏教会の結成と全仏への加盟を強力に推進するよう参加者一同が働きかけることを申合せしここに決議する。

昭和四十二年八月二日

九州地区仏教関係者懇親会全仏では、九州各県仏の首脳者と個別会合を重ね、全九州地区の全仏加盟を促進する。

## あちらこちらの仏教会



長野 長野県仏教会（会長半

田孝海）では、九月三十日午後

一時から諏訪市で第十回長野県仏教徒会議を開催する。記念講演講師として金沢大学教授文学博士戸頃重基師を全仏から派遣する。

茨城 茨城県仏教会では、五月末の役員改選で川田聖見師が会長に就任し新陣容のもとに県仏再建のため、めざましい努力をつづけている。まず檀信徒の結果で僧俗一体になつての仏教の興隆が主眼である。同県仏の夏季仏教講座は八月三十日、三十一日の両日雨引山薬法寺で行なわれ、県仏教青年会総会も同日に開催。

# 仏教徒の祭典

新しい時代の仏教!!  
仏教をすべての人々の手に

10月8日9日 主会場 岐阜県民体育館

## ■全日本仏教徒大会(総会)

と き 10月8日・9日(午前10時より)

と ころ 岐阜県民体育館

式典  
総会

記念講演 花園大学学長 祥福寺僧堂師家

山田無文老師

神学博士・哲学博士・理学博士(ロサンゼルス)

和田聖公師

読売新聞社々主

正力松太郎氏

大谷楽苑合唱団

讃 歌 東本願寺立

### ▼大会参加希望について

この大会に参加ご希望の方は各寺院又は檀信徒大会実行委員へご連絡お申し込みください。

## ■ 仏 教 徒 会 議

と き 10月8日(午後1時より)～9日(正午まで)

と ころ 岐阜市鶯 聖徳学園女子短期大学

第1部会 仏教の社会活動等に関する事項

第2部会 仏教文化の宣揚に関する事項

特別部会 仏教徒組織の拡充強化に対する  
具体策

助言者	武蔵野女子大学学長	山田竜城氏
	同朋大学学長	山上正尊氏
	東京大学教授	笠原一男氏
	鞍馬寺管長	信楽香雲師
	石庭竜安寺住職	松倉紹英師
	知恩院執事長	鵜飼隆元師
	愛知県仏教会事務局長	村瀬良彦氏

### ▲参加記念品 各管長・法主御染筆額皿

御染筆御芳名(順不同)

浄土真宗本願寺派門主	大谷光照師
浄土門主総本山智恩院門跡	岸信宏師
曹洞宗管長(永平寺)	高階瓊仙師
天台座主総本山延暦寺貫主(比叡山)	即真周湛師
臨濟宗妙心寺派管長	古川大航師
真宗大谷派法主(東本願寺)	大谷光暢師
日蓮宗管長総本山身延山久遠寺法主	藤井日静師
高野山真言宗管長総本山金剛峰寺座主	堀田真快師

### 協賛団体

岐阜県・岐阜市・大垣市・高山市・岐阜商工会議所・大垣商工会議所・高山商工会議所

## ■全日本仏教徒大会事務局 岐阜市千手堂北町2 善福寺内

電話 52-2783番



第15回

# 全日本仏教徒大会

## 全日本仏教婦人大会

と き (9月10日飛騨地区大会10時より・全国大会1時から)

と ころ 高山市飛騨体育館

特別御臨席

東本願寺 大谷智子御裏方

善光寺大本願 一条智光上人

大会講師

奥州平泉中尊寺貫主 今東光師

観 光(平湯温泉・乗鞍岳)

## 全日本仏教青年大会

と き 10月7日午後1時30分から

と ころ 大垣スポーツセンター

挨拶 全日本仏教青年会会長

東本願寺法嗣 大谷光紹師

全日本仏教青年会副会長

池ノ坊家元 池ノ坊専永師

記念講演 東大総長 大河内一男氏

東大教授 笠原一男氏

特別来賓 世界仏教青年会代表(60カ国)

シンポジウム「仏教青年は如何にして社会に寄与し得るか」

○西濃仏教青年連盟(5000人)の結成

○記念論文集募集(入選5万円ほか)

○慈悲の献血運動の推進

○4つの誓いの実践

## 幼児と母親の大会

と き 10月7日 午前10時より

と ころ 岐阜市民センター

岐阜県仏教保育協会結成式

第15回全日本仏教徒大会祝賀式

ぬいぐるみ人形 狼と七匹の子やぎ 観劇

(ほとけの子供を育てましょう)

(あの子も、この子も、仏の子みんなで守ろう育てよう)